



上/サニーレタス(手前) やグリーンリーフ(奥)も、 真夏は出荷の最盛期。 左/女性を中心に大人 気のパクチー。

年間の栽培計画に基づ いて、苗を育てる。







上/活気に満ちている、若い社員たちが活躍する 現場。左/会社説明会に参加し、大学新卒で入 社した初の女性社員・荒井美波さん。入社3年目 でパクチー班農場長を務める。







左/中学時代から始めたギター。 毎年恒例のベジアーツバーベ キュー大会では、長渕剛の曲を 披露することも。上/会社経営 や食に関する知識などは、読書 から学ぶことも多い。

ろうと聞いて回り、「名前がダサ

会社のホ

ームペ

ージがないか

事業概要も特徴もわからない

働きたい!」と思ってくれるだ



右/農業への道を勧めた父親、山本富士雄さん。 上/真夏でも野菜を急速に冷やすことができる真空 予冷装置。野菜を新鮮なまま出荷することが可能。

農業未経験の山本さんも一作業者

野菜づくりを学ぶ一

人、アルバイ



てもらうことにし、 て使い捨てにするようなことはし る若者が応募してきてくれて。う 雇ってはやめていくという状態。 万で人手不足に悩むことに。 **表理事として農場を全面的に任せ** てはいけない、と思いました」 「そんなとき、ぴかぴか輝いてい そこで山本さんは一念発起。代 組むことに。どうしたら若者が しくて、彼を単なる労働力とし クに求人を出し続け、全員 人材育成に取

とが、できていない」ことに気づ 確保など「一般企業では当然のこ 案内を作成しました。 北佐久園芸生産組合から、 5指摘され、 時間外勤務手当の支給や休日の ツへ変更。 ホ 社名を農事組合法人 ームページや会社 ベジア

Profile

山本裕之さん

1979年生まれ。信州大学経済学部を4年で中退、 一般企業に1年ほど勤務したのち、2002年に就 農。2009年、農事組合法人北佐久園芸生産組 合の代表理事に就任。2013年、農事組合法人 ベジアーツに社名変更。2015年に株式会社化を 果たす。3児の父。

所在地/長野県北佐久郡御代田町馬瀬口94-4 http://www.vegearts.co.jp/

を一つずつ解決していくことで発 なれる農場を目指しています。 楽しく!」「野菜をもっとおい められています。「農業をもっと ちの作品である、 「経営的な数字はもちろん大切で 人・土・野菜〞 すべてが自分た ベジア ・」を礎に、 お客様の注文に欠品を 冬期の雇用など身近な問題 ツとい 幸福を追求する会社 多くの人が幸せに という思いが込 う社名に

実習生を含む全26人の若手農業集 の甲斐あって、な 今

う新たな道に立たされたのです。

がある父親に、強引に農業とい

先見の

農場づくりを目指しみんなに喜ばれる 団に発展したのです。 では平均年齢28歳の正社員9

育てる 工夫と努力 石い人材を集め、

とはいえ、当時の直営農場は正

株式会社ベジアーツ/長野県

農業を通じて 多くの人を幸せに!

高齢化、後継者不足が問題になっている農業の現場で、なんと社員の平均年齢が28歳 若手農業集団が飛躍的な発展を続け、注目を集めています。その成功の秘密とは……? 取材・文/岸田直子 撮影/原田圭介



農業しないか?」「お前、明日から

勤務先に突然現れた父親に、



浅間山の麓に広がる雄大なほ場。最盛期のレタスは明け方3時から収穫し、契約先に出荷する。

うです。 般企業で営業の仕事に。とはいえい、と大学は経済学部へ進学、一でも山本さんは、跡を継ぐ気はな 営農場を立ち上げていました。 の経営理念を教えてください」 る日突然職場へ。支店長に「御社 らない」と母親にもらしていたそ 間流通の会社を経営していました 菜を市場やスーパ サニーレタス、グリ 北佐久郡。浅間山の麓でレタス、 代表・山本裕之さんです。長野県 を集めているのが、 社員を率いる農業集団として注 就農。十数年の歳月を経て、 かば強制的に実家に連れ戻され とその日のうちに山本さんは実家 給料はいいけれど、 父親は、農家から買い上げた野 実はその2年前、 あ、息子には農業をさせるから」 まさにドラマのような展開 答えが得られないと、 ーなどを栽培しています。 それを聞いた父親が、 中間流通の需要が先細 ーに納品する中 父親は自社直 l ン リ 仕事はつま 若 ツ

19 aff | August 2017 August 2017 | aff 18

これからは契約栽培の野菜の需